

アップリンク「緊急局」の整備と運用開始について

弊社は、BS放送の基本インフラを担う基幹放送局提供事業者として、NHKをはじめとする放送事業者の方々が制作した番組を、BSAT-3a・3b・3cという3機の放送衛星を所有・運用して、視聴者の皆さまにお届けしています。この放送衛星に向けて番組を電波で送信する地球局について、これまでの主局、副局に加えて「緊急局」を整備したことをお知らせいたします。

弊社はこれまで、地球局として主局（東京都渋谷区）と副局（埼玉県久喜市菖蒲町）の2局を運用してきました。例えば、東京都渋谷区を含む地域が豪雨のため主局からの電波信号の送信に支障が生じた結果、視聴者の皆さまがBS放送を良好に受信・視聴できない状況になった場合には、豪雨に見舞われていない地域にある副局から電波信号の送信を行い、またその逆もありという相互バックアップにより、豪雨があっても常にBS放送の受信・視聴を確保する体制をとってきました。

ところが、昨夏、きわめてまれなことですが、主局と副局の所在地の同時刻に集中豪雨が発生し、一時、主局、副局とも放送衛星への電波信号の送信に支障が生じました。弊社としては、今後は、このような広範囲に及ぶ同時集中豪雨にも備える万全の体制が必要と考え、副局所在地の埼玉県久喜市菖蒲町から約100km離れた弊社の衛星管制所（千葉県君津市）の敷地内に当緊急局を完成させ、本年6月22日、新たな地球局としての免許交付を受けました。

弊社は、どのような状況でもBS放送を継続するという基本使命を確実に果たすために、3機の放送衛星、3局の地球局などの基本インフラを、最大限効果的かつ効率的に運用していきます。

